



暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが  
**住んでよかつた**  
と思える川西市に...

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL740-1111 (内線4020)

直通FAX759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



～ 3月議会 ～

「診療所計画廃止の補正予算」可決  
8議員が反対、反対増える

## 後退一方の北部医療

現市立川西病院の閉鎖に伴う「北部医療の確保」は、どんどん後退しています。当初は、山下駅前に24時間対応の急病センター（内科・小児科・外科）を建設する計画でした。

その後、24時間対応は内科1診だけの北部診療所（内科3診と整形外科・小児科・外科等6診、2開業医誘致、内科1診は24時間対応）に後退。とうとう「北部診療所の廃止」まで行きました。現在、民設民営の回復期病院「川西リハビリテーション病院」の中に内科・小児科の外来機能（平日午前診のみ、休日診療は内科（15歳以上）を組み込む計画を進めています。

## 診療所予算なくす

3月議会では、北部診療所建設の設計業務委託料3502万4000円を全額減額とする補正予算が提出されました。

市としては、北部診療所を作らないの  
で必要なくなった、ということです。

しかし、北部診療所の建設は協和会との「基本協定」でも約束していることであり、北部住民の最小限の要求です。

## 民意に応えるべき

昨年実施された「北部の医療確保について」のパブリックコメントでは、圧倒的に「北部診療所の建設」を望み、「川西リハビリテーション建設」への賛成意見は2件のみでした。また、「現病院の存続を求める」意見は根強くあります。二次救急病院の空白地を拡大して良いのか、市は誠実に民意に応えるべきです。

# 新型コロナウイルス第3度目「緊急事態宣言」 政府は責任もってやるべきことを実行せよ

この1年余の日本政府の対応には多くの批判があり、「人は、※②十分な休業補償が欠かされた」の声も少なくありません。日本共産党は節目ごとに「政府などに提言。①PCR検査を抜本的に拡大し、無症状感染者を発見、隔離しコロナを封じ込める」など4点※をも示して提起しました。求めてきました。政府もやっと今年に入って検査の拡大が「5月11日まで」の期限あり必要と認めましたが、本気度が足りず、PCR検査は世界146位にとどまっています。

検査146位、抜本拡充を

期限ありきでは収束無理

あらゆる力をコロナ収束に集中、オリンピックは中止を  
政府は4月23日、東京、大阪、兵庫、京都の4都府県に緊急事態宣言（4月21日～5月11日）を出しました。前回解除からわずか1か月余り。「これ以上仕事がなくれば生活できない」「店の経営が成り立たない」「なぜ同じことを繰り返すのか」「不安や憤りの声と共に相談が増えています。」「もう、たまらん」の思いが広がる中、政府に「もっと真剣に必要な対策をすべて実行し、必ず収束を図ること」を求めたいと思います。

## 川西病院の役割重要

今でも足りないベッドや医療スタッフ。今後ともコロナ以外のパンデミックや南海トラフ巨大地震、様々な自然災害は必ず起こります。川西市の計画では、北部から二次救急病院がなくなり、市内急病ベッドが163床減ることになります。私（黒田）は、現川西病院の廃止や急病ベッド削減をさせてはならないと考えています。

兵庫県では、4月24日現在、新型コロナウイルス対応の入院病床稼働率が77.9%（重症ベッド75.4%）、療養病床稼働率46.6%となっています。しかし、実際には1000人を超える患者さんが入院できず、自宅療養中に亡くなる事例が報道されています。

## 反対8、賛成17に

減額の補正予算は、8議員が反対（吉富・津田・斯波・山下・谷・北野・吉岡・黒田）しましたが、賛成多数となりました。残念な結果ですが、これまでより反対が増えています。

市立川西病院の新年度予算については、6議員が反対（吉富・山下・谷・北野・吉岡・黒田）、退席1議員（斯波）でした。（敬称略）

## 今後、具体化の議案が...

今後、現病院の廃止や新病院の指定管理者委託などの議案があがってきます。

川西市の医療はどうあるべきか、二次救急病院の目的や役割は、などをしっかり議論し、あきらめないで、民意が反映される市政、命を守り、くらしを支える市政に変えていきましょう。

## 黒田の声

11億円のご褒美

「私の病院は軽症・中等症までが対象なのに重症になっても転院先がない。一般患者さんの治療の延期や制限も出ている」友人から悲痛な叫び

なのに、急病ベッドを削減する政権  
ベッドを減らすとご褒美が出る  
なんと、財源は消費税増税分  
川西市の病院統廃合への  
ご褒美は3年で約11億円

75歳以上の医療費

2割負担者を拡大する政権

若い世代の負担を減らすって?!

現役世代の本人負担軽減は

わずか月30円弱

後期高齢者は医療費がかさむ

1人当たり年91万9000円

65歳未満の4.9倍

厚労省も「受診が減る」って

社会保障費「自然増分」1300億円削減

「年金削減」500億円も

医療従事者へのワクチン接種25%

(1回接種、2回接種は15%)

アベノマスクは260億円だって

GOTOトラベル予算の追加

1兆800億円も

税金は国民が預けているお金

困った時に助けてね...と

命・生業・くらしを守れ

